

# 令和2年度 指定管理者モニタリング評価結果報告書

【令和2年度】

施設概要	名称	福津市福社会館(夕陽館)
	所在地	福津市津屋崎1丁目37番17号
	設置条例	福津市福社会館条例
	施設種類	入浴場、ヘルストロン、研修室等
指定管理者	名称	株式会社トキワビル商会
	代表者	代表取締役社長 斎藤 正宏
	所在地	飯塚市花瀬32-1
	指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日
所管	部課名	福津市健康福祉部いきいき健康課健康づくり係
	評価期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日

## ◎モニタリング項目別の総合評価コメント

<p><b>I 業務運営状況(運営状況・利用状況・収支状況)</b></p> <p>令和2年度は年度初めから新型コロナウイルス感染症拡大の影響で臨時休館を余儀なくされ、5月25日から再開したが、感染拡大防止のため滞在時間や休憩施設の利用を制限したため、利用者数は伸び悩んだ。 市内飲食店の利用で夕陽館の利用料金を無料とするキャンペーンを12月5日から開始し、利用者は増加したが例年までの回復はできなかった。 また3月8日には海水槽からの溢水事故で分電盤が使用できなくなり、休館している状況で、指定管理者の経営努力の甲斐なく利用者増加にはならなかった。</p>
<p><b>II 業務履行状況(基本的事項・執行体制・個人情報保護・緊急時対策等)</b></p> <p>館の運営は、館長を中心に10名のスタッフで、利用者への適切な対応、地域との連携にも取り組んでおり、良好と考える。 今回の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で臨時休館、また令和3年3月には分電盤への海水溢水事故で再度の臨時休館となったが、担当課との緊密な連携で利用者からの問い合わせ等にも適切に対応した。</p>
<p><b>III 維持管理状況(施設設備の保守点検・備品管理・清掃・警備等)</b></p> <p>ビル管理が専門の指定管理者であり、浴槽の清掃をはじめ利用者からもとてもきれいになったとの意見が出ている。 しかしながら、建築後20年以上が経過し、海岸に面していることもあり、施設設備ともにさび等の腐食が進んでいる状況である。</p>
<p><b>IV サービス向上への取組状況(運営全般・利用者サービスへの取組)</b></p> <p>令和2年度は4月から新型コロナウイルス感染症拡大の影響、及び令和3年3月8日からは分電盤への海水溢水事故で2度の臨時休館を余儀なくされ、利用者にはご迷惑をかけたが、臨時休館中も出勤し電話対応等を行っている。</p>

## ◎モニタリング全般の総合評価コメント

<p>◆ 総合評価コメント</p> <p>・コロナ禍での運営となったが、感染対策を実施しながら職員が一丸となり、キャンペーンの実施など入館者へのサービスと自主事業も行い入館者の増員に努力されていた。</p>
<p>◆ 今後の業務改善への考え方</p> <p>・施設及び付属機器が経年経過により老朽化・不具合が見受けられるようになり、機器の故障で臨時休館となっているが、指定管理者との連携で早期の再開に努力していきたい。</p>

第5 指定管理者モニタリングチェックシート

【令和2年度】

施設概要	名称	福津市福社会館(夕陽館)
	所在地	福津市津屋崎1丁目37番17号
	設置条例	福津市福社会館条例
指定管理者	名称	株式会社トキワビル商会
	代表者	代表取締役社長 斎藤 正宏
	所在地	飯塚市花瀬32-1
	指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日
所管	部課名	福津市健康福祉部いきいき健康課健康づくり係
	評価期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日

I 業務運営状況に対するチェック

(チェックシート①)

I-1. 運営状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント
開館(開場)日数	313 日	241 日	4.5.3月臨時休館
開館(開場)時間	3,912 時間	3,006 時間	1日12時間
自主事業開催数	240 件	523 件	

I-2. 利用状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント
延べ利用者数	入館者数	91,200 人	45,637 人
	貸し部屋利用者数	2,400 人	797 人
	ヘルストロン利用者数	2,400 人	1,325 人
	計	96,000 人	47,759 人
事業参加者数	自主事業参加者数	2,400 人	2,757 人
		人	人
	計	2,400 人	2,757 人
稼働率(平均)	入館者目標達成率	100.0 %	50.0 %
	貸し部屋利用達成率	100.0 %	33.2 %
	ヘルストロン利用達成率	100.0 %	55.2 %

利用者数比較

### I -3. 収支状況

評価項目		事業計画(目標)	事業実績	コメント
利用料金収入	入館者	20,400,000 円	10,673,250 円	
	貸し部屋	360,000 円	154,290 円	
	ヘルストロン	240,000 円	107,100 円	
	計	21,000,000 円	10,934,640 円	
自主事業収入	自主事業	3,600,000 円	3,207,892 円	
	自動販売機	2,400,000 円	461,510 円	
	その他	6,000,000 円	1,636,936 円	
	計	12,000,000 円	5,306,338 円	
指定管理料		20,199,960 円	21,749,960 円	追加キャンペーン分含む
収入合計		53,199,960 円	37,990,938 円	
人件費		14,160,000 円	9,928,510 円	
消耗品費		480,000 円	837,569 円	
光熱水費(燃料含む)		21,600,000 円	13,331,015 円	
印刷製本費		120,000 円	615,230 円	
通信運搬費		240,000 円	215,949 円	
維持管理費		6,300,000 円	8,043,560 円	
事業費		8,160,000 円	3,845,737 円	
総務費		840,000 円	1,132,145 円	
支出合計		51,900,000 円	37,949,715 円	
収支差引		1,299,960 円	41,223 円	

#### I 業務運営状況の総合評価コメント

令和2年度は年度初めから新型コロナウイルス感染症拡大の影響で臨時休館を余儀なくされ、5月25日から再開したが、感染拡大防止のため滞在時間や休憩施設の利用を制限したため、利用者数は伸び悩んだ。

市内飲食店の利用で夕陽館の利用料金を無料とするキャンペーンを12月5日から開始し、利用者は増加したが例年までの回復はできなかった。

また3月8日には海水槽からの溢水事故で分電盤が使用できなくなり、休館している状況で、指定管理者の経営努力の甲斐なく利用者増加にはならなかった。